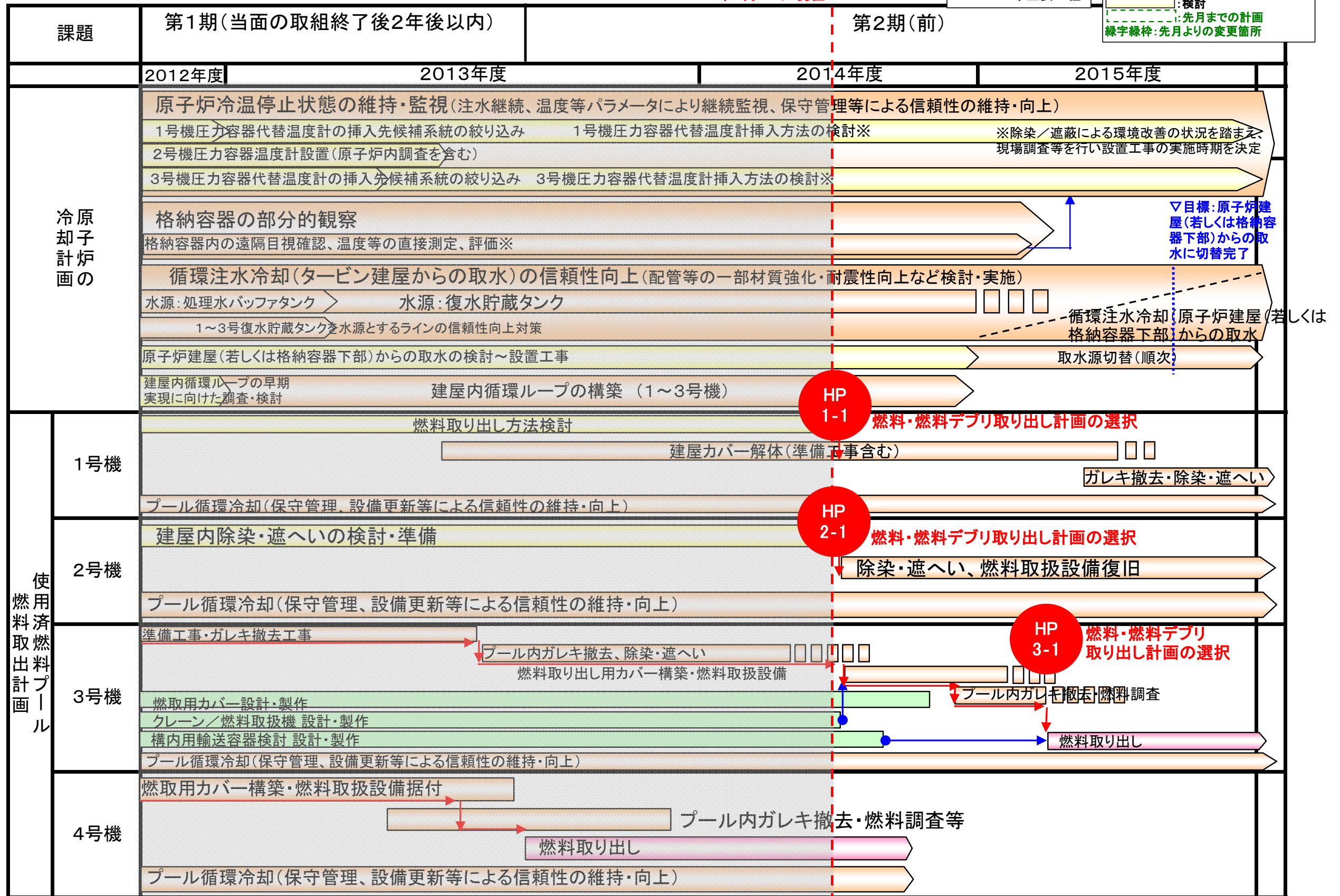


# 諸計画の取り組み状況(その1)

2014年9月25日現在▼

→ : 主要工程  
→ : 準主要工程  
現場作業  
研究開発  
検討  
先月までの計画  
緑字緑枠: 先月よりの変更箇所



▼目標: 原子炉建屋(若しくは格納容器下部)からの取水に切替完了

循環注水冷却(原子炉建屋(若しくは格納容器下部)からの取水)

HP 1-1

HP 2-1

HP 3-1

# 諸計画の取り組み状況(その2)

2014年9月25日現在

→ : 主要工程  
→ : 準主要工程  
 : 現場作業  
 : 研究開発  
 : 検討  
 : 先月までの計画  
■ : 緑字緑枠: 先月よりの変更箇所

課題	第1期(当面の取組終了後2年後以内)		第2期(前)		
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	
燃料デブリ取出計画	建屋内除染	除染技術調査/遠隔除染装置開発 <small>遠隔汚染調査技術の開発①                      遠隔除染装置の開発①                      現場調査 現場実証(適宜)</small>		<small>原子炉建屋内 1階</small> 建屋内除染・遮へい等(作業環境改善①)	
		総合的な被ばく低減計画の策定 <small>作業エリアの状況把握                      原子炉建屋内の作業計画の策定                      爆発損傷階の作業計画の策定</small>		※現状に合わせた見直し	
	格納容器(止水)	格納容器の水張りに向けた研究開発(建屋間止水含む) <small>格納容器調査装置の設計・製作・試験等②                      格納容器補修装置の設計・製作・試験等③⑥</small>		<small>【1,3号機】 原子炉建屋地下階調査・格納容器下部調査☆                      【2号機】 原子炉建屋地下階調査・格納容器下部調査☆</small> ☆: 開発成果の現場実証含む	
	燃料デブリ取り出し	燃料デブリ取り出しに向けた研究開発(内部調査方法や装置開発等、長期的課題へ継続) <small>格納容器内調査装置の設計・製作・試験等⑤</small>		<small>格納容器内部調査</small>	
	燃料取出後の管理・処分	収納缶開発(既存技術調査、保管システム検討・安全評価技術の開発他) 処理・処分技術の調査・開発 燃料デブリに係る計量管理方策の構築			
	その他	臨界評価、検知技術の開発			
					目標: 除染ロボット技術の確立 ※現状に合わせた見直し

# 諸計画の取り組み状況(その3)

2014年9月25日現在▼

→ : 主要工程  
→ : 準主要工程

現場作業  
研究開発  
検討  
先月までの計画  
緑字緑枠: 先月よりの変更箇所

課題	第1期(当面の取組終了後2年後以内)		第2期(前)		
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	
プラントの安定状態維持・継続に向けた計画	処理計画 滞留水	▽目標: 現行設備の信頼性向上の実施			
		現行処理施設による滞留水処理	信頼性を向上させた水処理施設による滞留水処理		
		現行設備の信頼性向上等(移送・処理・貯蔵設備の信頼性向上)			
		分岐管耐圧ホース使用箇所のPE管化			
		タンク漏えい拡大防止対策(堰の嵩上げ・土堰堤・排水路暗渠化) / タンク設置にあわせて順次実施			
		循環ライン縮小検討			
		サブドレン復旧方法の検討	サブドレン復旧工事	サブドレン復旧、地下水流入量を低減(滞留水減少)	
		サブドレン他浄化設備の検討→設置工事			
		地下水バイパス設置工事	地下水流入量を低減(滞留水減少)		
		多核種除去設備の設置 処理量増加施策検討/実施	構内貯留水の浄化		
汚電所全体の放射線量低減・汚染拡大防止に向けた計画	海洋汚染拡大防止計画	海側遮水壁の構築	港湾内埋立等	▽目標: 汚染水漏えい時における海洋汚染拡大リスクの低減	
		鋼管矢板設置			
		放射性ストロンチウム(Sr)浄化技術の検討			
		海水循環浄化	海水繊維状吸着材浄化(継続)	放射性ストロンチウム(Sr)浄化	
		航路・泊地エリアの浚渫土砂の被覆等			
	気体・液体廃棄物	1~3号機 格納容器ガス管理システム運用			
		2号機 ブローアウトパネル開口部閉止・換気設備設置			
		建屋等開口部ダスト濃度測定・現場調査			
		気体モニタリングの精度向上			
		陸域・海域における環境モニタリング(継続実施)			
敷地境界線量	▽目標: 発電所全体から新たな放出される放射性物質等による敷地境界1mSv/年未満				
	遮へい等による線量低減実施				
	汚染水浄化等による線量低減実施				
除染計画	陸域・海域における環境モニタリング(継続実施)			目標: 1~4号機周辺を除く敷地南側エリアを平均5μSv/時以下 ▼	
	発電所敷地内除染の計画的実施				

# 諸計画の取り組み状況(その4)

2014年9月25日現在▼

→ : 主要工程  
→ : 準主要工程  
 : 現場作業  
 : 研究開発  
 : 検討  
- : 先月までの計画  
- : 緑字線枠: 先月よりの変更箇所

課題	第1期(当面の取組終了後2年後以内)		第2期(前)		
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	
燃料取り出し計画 使用済燃料プールからの	輸送貯蔵兼用キャスク	キャスク製造			
	乾式貯蔵キャスク	キャスク製造			
	港湾	物揚場復旧工事			
	共用プール		空キャスク搬入(順次)		
			既設乾式貯蔵キャスク点検(9基)	共用プール燃料取り出し	
			損傷燃料用ラック設計・製作	据付	
	キャスク仮保管設備	設計・製作			
研究開発	使用済燃料プールから取り出した燃料集合体の長期健全性評価				
燃料取り出し計画 取り出しデブリ	原子炉建屋コンテナ等設置				
	RPV/PCV健全性維持	圧力容器/格納容器腐食に対する健全性の評価技術の開発 腐食抑制対策(窒素バブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減)			
施設の廃止措置に向けた計画 原子炉	固体廃棄物の保管管理計画	適切な遮へい対策及び飛散抑制対策を施した安定保管の継続			
		保管管理計画の策定(発生量低減/保管)	持込抑制策の検討	発生量低減策の推進	
			車両整備場の設置	保管適正化の推進	
			保管管理計画の更新		
		雑固体廃棄物焼却設備 設計・製作	雑固体廃棄物焼却設備の設置		
		ガレキ等の覆土式一時保管施設への移動			
	固体廃棄物の処理・処分計画	処理・処分に関する研究開発計画の策定	処理・処分技術の幅広い調査と適用性の評価		
原子炉施設の廃止措置計画	複数の廃止措置シナリオの立案				
実施体制・要員計画	協力企業を含む要員の計画的育成・配置、意欲向上策の実施 等				
作業安全確保に向けた計画	安全活動の継続、放射線管理の維持・充実、医療体制の継続確保 等				

HP ND-1

廃止措置シナリオの立案

事務本館休憩所・免震重要棟前休憩所・免震重要棟の線量低減